

長浜市木之本 青少年センターだより

発行
長浜市木之本
青少年センター
北部合同庁舎3F
TEL 82-4798

地域社会の

エンパワメント

木之本青少年センター所長

松井 新



昨年度まで38年間、中学校教育に携わってきました。今年度より社会教育の立場で、引き続き子どもの育ちに関わることが出来ます。大変ありがたいことと感謝しつつ、伊香地域のために少しでもご恩を返せるよう、青少年に関わる地域の皆様とともに、子どもたちの健やかな育ちに取り組んでいきたいと考えています。何分、力量不足ではありますが、一所懸命に努めてまいります。どうぞよろしく願います。

さて、長年、社会全体で子どもの健全な成長を支える仕組みを地域の方々によって、継続、発展してこられました。青少年センターは、地域社会で子どもの成長を支える一員として微力ながら関わっています。私は、地域から子どもたちを支援する立場となるこの機会に、教育の原点を考えて職務にあたりたいと考えています。

教育の原点で一番大切にしたいことは、人権です。あるアメリカの心理学研究に、「一般的な家庭の子ども

は、大人になるまでに、周りの人間から自己否定される言葉を、平均148,000回聞かされて育っている。」とあります。「あほ、バカ」など見下すような暴言、「そんなことやっても無駄」「無理に決まっている」などの選択肢を制限する言葉、「なんでできないの」と可能性を否定する言葉。ネガティブな感情の言葉を浴びていくと、人間は自分の心を傷つけられていきます。小さくゆがんだ心は、考え方もマインド思考になります。自信が持てず、何もやる気が起こらなくなりま

す。「どうせ、頑張ってもできるわけがない。」「本当はしたいことがあるけど、やめておこう。」「という思考に陥ります。

もともと、周りの人たちに祝福されてこの世に生を受けた命には、無限の可能性はあるはず。周りの人や環境から様々なことを吸収し、自信をもつてのびのび生きていくことが本来一人一人の人間がもつ権利です。しかし、多くの子どもは、年月を追って、周りからのネガティブな言葉



の皆様と前向きな言葉がけをして、子どもを中心とした活力ある地域社会になることを願っています。地域の皆様方のご支援、ご指導を賜りますようお願いいたします。

によって、心の成長がゆがんで、思考や行動にも影響していきます。ただ、人間は環境の変化に合わせる柔軟さを持ち合わせています。心身の傷は、ある程度は自力で治癒する力をもっています。心が、外からの攻撃に耐えられるうちに、手当が必要です。その手当は、周りの人から「よく頑張っているね」「あなたはできる」「あなたは素晴らしい」などポジティブな言葉がけをされることで、傷つき、小さく硬くなった心は徐々に傷が癒え、大きく柔らかくなっていきます。心が良くなると、自信をもって生き生きと活動できます。本来持っている能力が発揮できます。このように内面にある本来持っている能力、性格を表に出せるように働きかけることをエンパワメントと言います。このエンパワメントの精神を実践して、正しい人権感覚を推進していきたいと考えています。

木之本警察署長より 永年勤続の少年補導員に「感謝状」



四月十九日に、木之本警察署と長浜市教育委員会（木之本青少年センター）が合同で、木之本少年補導員の総会と研修会を行いました。その中で、永年ご尽力された少年補導員七名の方に木之本警察署長より感謝状が贈呈されました。

木之本少年補導委員会・ 無職少年等対策連絡協議会の紹介

木之本少年補導委員会では25名の少年補導(委)員の皆さんが、青少年の非行防止や健全育成を目指して、相互に情報交換を行いながら「街頭補導活動」や「愛のパトロール」「誘拐被害防止・飲酒防止・喫煙防止・薬物乱用防止の出前啓発教室」などの活動に取り組んでまいります。今年度も4月19日に総会を行い、活動計画を立てました。また、各活動では地域・関係機関(特に木之本警察署生活安全刑事課)との連携のもと進めています。



木之本少年補導委員会

「地域の力で子どもを守り、はぐくむ」を合言葉に！

(敬称略)

ブロック	地区	氏 名	地区	氏 名	ブロック	地区	氏 名	地区	氏 名
高 月	高 月	□ 宮田 重己	古保利	禿 里和	木之本	木之本	☆ 森下 幸治	木之本	阪本 好子
		北村 滋敏		◇ 山田 善晴			前川 博之	伊香具	原 智子
	富 永	齊田 信夫	七 郷	☆ 今井 克美			小森 康子	高 時	脇阪 孝之
		後藤千恵子		◎ 吉内 雅子			梅本 尚美	杉 野	宮前 英之
西 浅 井	永 原	○ 小久保義弘	塩 津	☆ 藤井 隆	余 呉	余 呉	平野 義正	丹 生	酒井 林嗣
		田中 重治		増田 伸子			山路 満子	片 岡	☆ 中嶋 久義
		田中美恵子		木之本青少年センター職員			松井 新	不破正和	下村秀夫

◎会長 ○副会長 ☆幹事 ◇教室部会長 □環境浄化補導部会長

無職少年等対策連絡協議会

無職少年の就学・就労などの自立への支援と非行の防止

少年補導委員代表	北村 滋敏	小森 康子	中嶋 久義	田中 美恵子
	吉内 雅子	梅本 尚美	◎酒井 林嗣	小久保 義弘
各地区主任児童委員	酒井 ふき子	吉田 緑	高田 峰子	司馬 祐美
	片桐 浩美	藤田 登喜子	徳山 享子	大谷 景子
各中学校・義務教育学校生徒指導主事	宮内 佑輔	吉原 翔哉	上橋 敏勝	三宅 諒
伊香高等学校生徒指導課	澤村 祥太			
木之本警察署生活安全刑事課	北川 大輔	小堀 恭子		◎座長
木之本青少年センター	松井 新	不破 正和	下村 秀夫	(敬称略)

みんなでつくろう安心のまち

防犯パトロール中

木之本少年補導委員会



滋賀県青少年育成県民会議より 感謝状をいただきました

滋賀県青少年育成県民会議が5月20日に開催され、その場で木之本少年補導委員会に感謝状が贈呈されました。この感謝状は、あいさつ運動を通じ青少年の健全育成に率先尽力した団体や個人に与えられるもので、日頃の木之本少年補導委員会の学校や駅等でのあいさつ運動が認められたものです。木之本少年補導委員会を代表して吉内雅子会長が表彰式に参加され、その後の研修会で木之本少年補導委員会の取組を発表されました。



一人で悩まないで！ 気軽にご相談ください

就労・就学、非行・不良行為、引きこもり等の青少年に関わる悩み相談
木之本青少年センター(北部合同庁舎3階 TEL・FAX 82-4798)

愛のソナタ

